

愛ワゴン

石垣市立富野小中学校 宜野座 愛子

平成26学年度 スタートにあたって



新しい仲間と共に、平成26学年度のスタートです。
宮良 健 教頭先生、美崎 宏美 先生、宮城 幸秀 先生、下地 政史先生、
ようこそ富野小中学校へ・・・
そして、大道 美恵 先生お帰りなさい。

本年度、富野校で巡り会えたのも何かの縁です。
「一期一会」富野校で出会えた事に感謝します。
「出会いは、人を育て、別れは、人を深める」と言われています。
お互い成長できるように、いい出会いになるようよろしくお願いします。

小規模校の良さを生かし、小中併置校の良さを生かし「話・和・輪・環
わ」を大切に、家族的で和やかな 雰囲気の職員室・学校づくりに努めましょう。
また、どんな小さな事でも「報告・連絡・相談」し、コミュニケーションを密
にしていきましょう。

「一人一人に 一つ一つ 確実に身につけさせる」を徹底し、職員一枚岩となっ
て、教育目標達成へ向けて、確実な教育実践を・・・

お互い毎日気持ちよく過ごせるように、思いやりの心で接し、和顔愛語〈わげん
あいご〉を心がけるようにしたいものです。

そのために

1) 子ども第一 ・健康第一 ・職場第一

① 子ども第一

- ・安全管理、交通安全指導の徹底
- ・子どもと共に行動し、良さを見つけ、ほめて、伸ばす。

② 健康第一

- ・本人はもちろん、家族が健康で安心して、十分な教育活動ができる。

③ 職場第一

- ・仕事は厳しく・・・自覚と誇りをもち、仕事に責任をもって正確にする。

いい顔・いい声（言葉）・いい心 で 心に笑顔・言葉にも笑顔

愛ワゴン

石垣市立富野小中学校 宜野座 愛子

平成26年度スタート



新しい仲間と共に、富野っ子15名と一人一人の夢と希望を満載した『愛ワゴン』が、目的地へ向けて本格的にスタートします。富野っ子一人一人新しい学年、進級の喜びが実感できる日にしましょう。



明日は、富野小学校へ比嘉みなとさん、富野中学校へ知花耕太郎さん、津波弥稀さん。前濱七海さん、比嘉彩香さんの5名が入学してきます。アットホームで思い出に残る入学式にしましょう。人生の節目である大切な1日皆で祝福しましょう。

初日から、家族的で和やかな雰囲気職員室に安堵。小規模校・小中併置校の良さを活かして、私たち職員も「報告・連絡・相談」を徹底し、コミュニケーションを密に、和顔愛語で教育目標達成へ向けて、確実な教育実践を推進していきましょう。

安全運転で『愛ワゴン』を目的地まで、無事に到着させます。

教師としての心得

1. 子どもは、人間として完成途上にあり、人格の完成を目指して、教師は子どもを教え導く重要な責務がある。
2. 子どもは、様々な体験を通して具体的な学習を学び、豊かな心情を培う事から、できるだけ多く体験的な活動の機会を持つことが重要である。
3. 子どもは、間違い、失敗の中から多くの事を学び成長していくものであり、間違いや失敗は貴重な体験である。したがって、子どもの間違いや失敗をきつくとがめたり、追いつめたりすることは避けなければならない。
4. 私たち教師・職員も未完成の人間である。常に子どもと共に学び、共に行動する意識をもち、額に汗することを惜しんではない。
5. 教材研究は教師の財産である。恵まれた環境にいる今こそ教材研究に力を入れ、指導力を蓄積してほしい。
6. 教え子にとって教師はいつまでも先生である。彼ら・彼女達にとって元先生という言葉はない。それだけに責任のある仕事である。

愛ワゴン

石垣市立富野小中学校 宜野座 愛子



置かれたところで咲きなさい



この言葉はノートルダム清心学園理事長渡辺和子さんの本の題名です。渡辺さんは30才間際で修道院に入り、その後修練のためアメリカに行き、35才でノートルダム清心女子大学に派遣され、その翌年学長に任命されました。36才でした。それをまとめてみました。

初めての土地、思いがけない役職、未経験の事柄の連続、当初考えていた修道院生活とは余りにもかけ離れていていつのまにか「くれない族」になっていました。挨拶してくれない。こんなに苦労しているのに「分かってくれない」「ねぎらってくれない」自信を喪失し、修道院を出ようかとまで思い詰めた時、一人の宣教師が一つの短い英語の詩をを渡してくれました。その詩の冒頭が「置かれたところで咲きなさい」ということばでした。

置かれた場に不平不満を持ち、他人の出方で幸せになったり不幸せになったりしては、私は環境の奴隷でしかない。人間として生まれたからには、どんなところに置かれてもそこで環境の主人となり自分の花を咲かせようと決心することができました。それは私が変わることによってのみ可能でした。

それは次のような短文です。

「置かれたところで咲きなさい 咲くということは、仕方がないと諦めることではありません。それは自分が笑顔で幸せに生き、周囲の人々も幸せにすることによって、神が、あなたをここにお植えになったのは間違いでなかったと、証明することなのです。」 修道院だから”神”等がでてきますが、神を抜いて考えてもいいと思います。

最後に、就職しても、結婚しても、子育てしても「こんなはずじゃなかった」と思うことが時にはあるかもしれません。そんな時にも、その状況の中で「咲く」努力をして欲しいと思います。

前県教育長仲宗根用英先生の「落地生根」に通ずる所もあります。私達も落とされたところで花を咲かせましょう。 がんばりましょう。

《 感動的な四季の心をもって臨む 》

- ◎人に接する時は 春のような温かい心で
- ◎仕事に取り組む時は 夏のような燃える心で
- ◎物事を考えるときは 秋のような 澄んだ心で
- ◎己を責める時は 冬のような 厳しい心で



愛ワゴン

石垣市立富野小中学校 宜野座 愛子

明るく気持ちのいい環境で読書

先日の図書館オープニング集会、図書・学習委員の皆さんと園子先生、古庄先生ありがとうございました。富野校の図書館は、明るく、周りの景色もすばらしくとても気持ち良い環境です。すてきな図書館で読書の花をいっぱい咲かせられるようにしましょう。



☆☆☆ 読書はいいな 本は世界をかけめぐる。読書はいいな 本は時間を飛び越える。読書はいいな 本は心を引き上げる。☆☆☆ いい本読んで、私たち大人も、富野っ子も、心を引き上げ、豊かな心を育みましょう。☆☆☆☆☆☆☆☆

家庭訪問お疲れ様でした。

- ◎早い段階で担任と保護者のコミュニケーションを図り、学級の方針・学級、学校のきまりを伝える場である。
- ◎子どもを取り巻く環境を理解し、子ども理解に繋げる場である。
なぜこの子は、このような言動をするのだろうか?等の場面に遭遇したとき、この子を取り巻く環境を知っていれば、その子の言動が理解できる時もある。
- ◎親にとっては、かけがえのない唯一の子、絶対的な存在の子である。
- ※ 家庭訪問を通して得た情報を共有し、教育的効果に繋げていきましょう。

◇ 日曜授業参観・PTA総会 4月27日(日)

- ◎ 学校と家庭、地域が連携し、子どものよりよき成長を願って、歩調を揃え、一体となって 共に進んでいきましょう。

《子どもを大事にするということ》**子どもの気持ちとは、**

- ① 楽しい学級であってほしい
- ② 楽しい学校であってほしい
- ③ 勉強がわかるようになりたい
- ④ わかりやすい授業であってほしい
- ⑤ 今日ひとつ賢くなったなと思う一日であってほしい

こんな子どもの気持ちに応えてあげたいものです。



鯉のように元気よく



元気よくこいのぼりも泳いでいます。富野っ子も鯉のように元気よく、粘り強く充実した日々が過ごせるように支援していきましょう。

先日の避難訓練、日曜授業参観・PTA総会・懇親会お疲れ様でした。学校・家庭・地域の強い絆でよりよい富野っ子を育んでいきましょう。

5月は家庭学習強化月間です。家庭学習の内容・量、共に充実させ、家庭学習の習慣化を徹底させましょう。また、安心・安全な中で楽しいゴールデンウィークを・・・職員の皆様もゴールデンウィークでエネルギーを充電してください。休みは、自分のため・家族のため・・・に。

※素敵なお母さんの絵、小学部の先生方取り組みお疲れ様でした。

子は親の鏡

ドロシー・ロー・ノルト

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる。

とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる。

不安な気持ちで育てると、子どもは不安になる。

「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる。

子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる。

親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる。

しかりつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう。

励ましてあげれば、子どもは、自信をもつようになる。

広い心で接すれば、キレる子にはならない。

ほめてあげれば、子どもは、明るい子に育つ。

愛してあげれば、子どもは、人を愛する事を学ぶ。

認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる。

見つめてあげれば、子どもは、頑張りやになる。

分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ。

親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る。

子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ。

優しく、思いやりをもって育てれば、子どもは、優しい子に育つ。

守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ。

和気あいあいとした家庭で育てば、

子どもは、この世はいいところだと思えるようになる。

愛ワゴン

石垣市立富野小中学校 宜野座 愛子

大型連休無事終わる

☆ 子ども達も私たち大人も楽しみにしていたゴールデンウィーク。今回、連続4日間の休みと、その前に飛び石連休があり「安全・安心」で有意義に過ごせたと思います。

仕事があるから休みのありがたさが身にしみる・・・富野っ子も私たち大人も充電したエネルギーを発揮しましょう。



楽しかった春の遠足

☆ 今回盛りだくさんの内容でとても充実した春の遠足でした。石垣島に住んでいながら知らない場所が結構あるものです。

名蔵ダム、VERA石垣島観測局、天文台、バンナー公園～等々自然と触れながら、楽しい一日を過ごすことができました。計画から事前の準備等のおかげで、最高の思い出づくりができたと思います。無事に終えることができました。担当の由利子先生、宮城先生、職員の皆様のおかげです。ありがとうございました。ご苦労様でした。感謝！！



ピグマリオン効果

ピグマリオンとは、ギリシャ神話に出てくる王様の名前。その王が象牙で美女の像を造り、その像が本物女性であつたらと想い続け恋をした。これを哀れんだ女神が像に命を与えたという話。

このように、人は相手から期待されると自然に期待に応えられるようになるという。私たちも、子どもの可能性を信じて、愛情や期待をかけてみましょう。人間は誰でも自分の所属する集団の役にたちたい、認められたいという欲求をもっている。私たち大人でも、認められ、ほめられると嬉しくなるしやる気も出てくる。まして子ども達はなおさらのことであろう。5月になり、子ども達の生活、様々な面での活動を通し、指導のあり方について考えさせられる頃である。子ども一人一人をよく見て、よい行いをした時、精一杯努力した時等、タイミングよく、心に響くほめ方で認めてあげましょう。叱る時も同様で、悪い行いに対しては、見逃さず即叱る事によって、社会のルールを身につけさせることが大事である。『ほめ上手・叱り上手』になって、「やる気いっぱい学校」造りに努めて行きましょう。

愛ワゴン

石垣市立富野小中学校 宜野座 愛子

沖縄を返せ



堅き土を破りて

民族の怒りに燃えた島 沖縄よ

我らと我らの祖先が血と汗を持って 守り育てた 沖縄よ

我らは叫ぶ沖縄は 我らのものだ 沖縄は 沖縄を返せ 沖縄を返せ

この歌は「沖縄を返せ」という歌です。祖国復帰（1972年）まではよく歌われていました。私が小中高学生の頃、4月28日は、各自がプラカードや提灯に「祖国へ返して」「沖縄を早く返して」等思い思いの言葉を書いて、現在の郵便局前に集まり、決起集会の後、現在のふなくら公園（民政府跡地）真喜良小学校前まで行進しました。

当時の私は、復帰がどうのこうのという事よりも、提灯を作って、行列に参加する事が楽しみだったような気がします。

4月28日は、日本が太平洋戦争に敗れ、サンフランシスコ平和条約に締結した日になっています。その日から沖縄は日本から切り離され、アメリカの統治下に置かれたのです。

当時は祖国に帰ることが念願でした。お正月には各家で日の丸の国旗を門に掲げて新年を迎えたものでした。（沖縄も日本であると主張していたのでしょうか。）

1972年5月15日祖国復帰は叶ったものの、沖縄県民が求める、核抜き、基地も本土並みという願いにはほど遠い復帰になったことで、逆に4月28日は沖縄県民屈辱の日として位置づけられるようになりました。

2013年7月、安倍総理は、4月28日を日本が太平洋戦争後に主権を回復した「主権回復の日」として、政府主催の式典を開催しました。

これに対しても沖縄県では反対運動も起こりました。

最近、大工哲弘氏のCDを聞いてみると、大工氏は、最後の歌い出しを「沖縄を返せ 沖縄に返せ」と歌っているのに気づきました。

なるほど本土に帰るのではなく沖縄は沖縄に帰るのだと納得した次第です。

5月15日・・・復帰記念日（静かに沖縄の歴史を振り返ってみようと思います。）

愛ワゴン

石垣市立富野小中学校 宜野座 愛子

朝のボランティア活動

今年度は月と木の朝、校門周辺、校庭の清掃を富野っ子&職員で行っています。朝のボランティア活動で、清々しく気持ちの良い一日がスタートします。

これから灼熱の太陽の照りつける夏本番を迎えますが、暑さに負けず、朝のボランティア活動で心も学校もきれいにしていきたいと思います。

「なぜそうじをすると人生が変わるのか？」そうじ小説の中から・・・

キーワードだけを上げてみると

「ゴミを1つ捨てる者は大切な何かを1つ捨てている」

「ゴミを1つ拾う者は大切な何かを1つ拾っている」

「人の前でゴミをポイッと捨てる者は一番大切な信用を捨てている。」

「仕事とは気づきである。掃除は気づきを教えてくれる最も簡単なトレーニング」

「そうじをすると売り上げがあがる。売り上げが上がるから拾おうと思ったとたん
売り上げは上がらなくなる」

「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が
変わる。人格が変われば運命が変わる。」

「気づかせるのではない。自分で気づくことが必要。だから、教えるのではなく
導く事が大切である。」

ボランティアの心が隅々に広がり、優しさ・豊かな心で・毎日楽しく、気持ち良く
過ごせますように・・・



集合学習スタート

今年度も集合学習の場で子どもたちの
素敵な笑顔に出会いました。
交流を深め、学び合い、高め合い、
より充実した学習にしましょう。



子ども達が喜んで登校する学校

学校には、信頼できる先生がいて、仲良く遊ぶお友達がいて、心の居場所があれば、子ども達にとって、楽しい学校になると思う。

子どもが喜んで登校する学校、楽しく活動できる学校、頑張りをほめてもらえる、
認めてもらえる、「わかる・できる喜び」を享受できる学校にしていきたいと思います。

日々の実践を振り返り、モラルの高い職場づくりに努めましょう。

愛ワゴン

石垣市立富野小中学校 宜野座 愛子



生き生きした「いい動き」を

6月15日の運動会へ向け、練習が始まりました。
計画的に効率よく 指導・練習をしていきましょう。
練習法には、「分習法」と「全習法」があります。



練習時間を見据えながら「分習法」と「全習法」で「生き生きとしたいい動き」で仕上げていきたいものです。

- 学校生活の充実・発展につながる運動会にしていきましょう
- 富野っ子一人一人、練習の過程を通してたくましく大きく成長できる運動会にしましょう

『体育的行事の実施上の留意点』(学習指導要領解説：特別活動)

- ①実施に至るまでの指導の過程を大切にする。
- ②時間の配当にも留意する。
- ③児童・生徒の健康や安全に特に留意する。
- ④教師間の協力体制を万全にする。
- ⑤学校の特色や伝統を生かす事も大切である。
- ⑥児童・生徒以外の参加種目は、運動会の教育的意義を損なわない範囲に止める。
- ⑦児童会・生徒会などの組織を生かした運営を考慮する



◎みんなで 運動会を成功させましょう

<先生と 子どもの顔>



朝は 希望に燃えた
やる気顔



昼は 熱中している 夢中顔



夕は 安らぎと笑顔
達成感顔



愛ワゴン

石垣市立富野小中学校 宜野座 愛子



運動会成功させるぞー

◎ 見る者の心に大きな感動を！



緑のじゅうたんの中で、懸命に練習に励む富野っ子。

小さな低学年児童も、休む間もなく自分たちの種目やお兄ちゃんお姉ちゃんたちと合同練習。高学年や中学生は、優しく下級生をいたわりながら、チームのリーダーとして頑張る姿は頼もしい。小規模校の良さ、一人一人の良さや思いやりを感じて安堵。きっと本番でも、心をひとつに全力で演技し、見るものの心に大きな感動を与えてくれるものと思う。

現代社会は、核家族化・少子高齢化・情報化・国際化等が進み、子ども達を取り巻く環境も様々な様相を呈しており、生活環境の悪化が危惧されている。人より物を優先させたり、室内遊び(ゲーム)や一人遊びが増える等、子どもの世界にも変化が起きている。そのような中、大田山林を望む豊かな自然に囲まれた広い運動場で、元気いっぱい跳びはねる富野っ子達、低学年から中学生まで心をひとつに取り組む活動を見ると心が和む。この体験が富野っ子達の原風景となり、一人一人の人格形成に大きく関わってほしいと願っている。

平和な時代に感謝

今年も6月が巡ってきました。6月23日慰霊の日は、去った沖縄戦で尊い命を落とされた方達の御霊を慰め、平和を誓い、沖縄から世界中の人々へ 二度とあのような恐ろしい戦争を起こしてはいけないと・・・平和への誓いを発信する日です。

今から69年前、この八重山の地でも悲しい戦争がありました。空からの艦砲射撃に当たって命を落とす人、大けがをした兵隊さんやマラリアにかかった住民、食べ物がなく栄養失調になった人達を助けるための野戦病院(現在の暁の塔)がありました。

私たちは、いま、戦争のない平和な時代に生きています。

二度とあのような、悲しい戦争が起きないように、平和な今に感謝し、平和を願い、平和の尊さを考え、私たちが毎日平和に暮らせるように、私たちに今何ができるか、私たちにできることから始めようと、富野小中学校でも、6月は平和月間として「平和について」いろいろと取り組んでいます。

69年前のあの恐ろしい戦争が来るまでは、沖縄は平和な島でした。

毎日が平和で 気持ちよく過ごせるために どうすればいいのか、

自分にできることは何か できることから、行動に移しましょう。

富野っ子・保護者・地域の方々・私たち職員が 平和の尊さ、「平和について考える」機会にしていきたいと思います。平和だから、運動会もできます。

平和な時代に感謝しながら、日々の生活を豊かに 過ごしていきましょう。